

宵まち宮灯ろう

報告：シティライフ学部3年藤田虎流，富岡涼介

シティライフ学部公認サークル「町おこし Tiger」は、2022年7月12日（火）に、宇都宮駅前のテナントビル「トナリエ宇都宮」1階屋外イベントエリア「ララ・ポケット」にて、第二次世界大戦中の宇都宮大空襲で亡くなられた方々への追悼イベント「宵まち宮灯ろう」を開催しました。このイベントは宇都宮市内の市民団体「ピースうつのみや」が、空襲の犠牲者の追悼のために毎年宇都宮市内を流れる田川で「灯ろう」流しを行っていたものでしたが、今回私たちがその意思を引き継いで、このイベントを行うプロジェクトメンバーを集め、新しい内容に変えて開催しました。

まず、開催に当たってはじめに本学の教員を通じて「ピースうつのみや」の現状を知ることから始めました。その中で、「宇都宮で第二次世界大戦中に大空襲があったこと」、「現在高齢化により団体の活動が困難なこと」を知りました。そこで、私たちはピースうつのみやの大きな活動であった「追悼イベント～田川灯ろう流し～」を私たちのアイデアでアレンジして、実施することにしました。

次に、ピースうつのみやの主要メンバーの方々とは直接お話しする機会をもちました。そこでわかったことは、「どうすれば子どもや若い世代に宇都宮大空襲があったことを伝えられるのか?」ということが一番の課題だということでした。そこで、私たちと灯ろう作家の鎌田泰二さんなどを中心として3つの項目にわけてイベントの内容を企画しました。

まず1つ目に、「宵まち宮灯ろう」の会場に灯ろうを並べることにしました。子どもたちに宇都宮空襲があったことや、平和について考えてもらうため、親子で灯ろうを作成してもらう「灯ろう製作イベント」を7月2日に築瀬地域コミュニティセンターで開催しました（写真1）。小学生11人が参加しました。参加した子どもたちからは、「地球が平和になりますように」、「ロシアが戦争しているからそれが終わってほしい」などの感想がありました。

2つ目に、「空襲体験者へ10代?30代の3人が質問することで、子どもからその親や祖父母という幅広い世代に伝わる」と考え、宵まち宮灯ろうの当日に質問コーナーを設けました。空襲体験者として宇都宮市在住の大野幹夫さんにお越しいただき、10～30代として、共和大生2名、そして都市経営アドバイザーの毛塚幹人さんが登壇しました。3人から「宇都宮の人々の戦争への思いは空襲を受ける前と後でどう変化しましたか?」などの質問をしました。これに対する回答として、大野さんは「私たちは正義のための戦争をしていると思っていた。実際に自分の父が亡くなくてもお国のために務めたのだから誇らしいと感じただけで、悲しくなかった。これは今思うと恐ろしいことだったと思う。」とお話しされていました（写真2）。

3つ目に、音楽です。「宵まち宮灯ろう」では、宇都宮市在住のプロのヴァイオリニストである渡邊響子さんとエレクトーン奏者である井上智美さんに「平和」に関する追悼演奏をしていただきました。最近の曲も演奏していただき若者の心にもささる時間でした（写真3）。また、宇都宮市立東小学校を拠点に活動している「ひがし子ども和太鼓クラブ」にも演奏してもらい、「平和」を音楽で奏でる機会をつくりました（写真4）。

さらに、このイベントについて周知し私たちの「発信力」を高めるため、学生がチラシやポスターを自ら作成しました（図1）。イベント関係者の方々と協力して、チラシの配布やポスターの掲示はもちろんのこと、テレビ・新聞取材やラジオ等のメディアに出演し、イベントの周知活動を行いました。その結果として、当日は50名以上の来場がありました。

最後に、本イベントに来場していた親子から次の感想をいただきました。子どもからは「やっぱり戦争はやっては行けないと思ったし、戦争をやって家族とかがいなくなったらやっぱり悲しいんじゃないかなと思った。」と話してくれました。親御さんからは「戦争を体験した方から直接話を聞ける機会は本当にないので、重要な機会だと思った。また、自分の娘自身の中で感じたことを大切に今後に繋げていってほしい。」とコメントをいただきました。本イベントと通して「平和」について学ぶ良い機会になったと思います。



写真1 灯ろう制作の様子



写真2 大野幹夫氏への質問の様子



写真3 渡邊響子氏・井上智美氏による演奏



写真4 ひがし子ども和太鼓クラブの演奏
(写真はすべて町おこしTiger撮影)

宇都宮空襲犠牲者 追悼 ウクラライナ侵攻の 収束を願って

2022年7月12日(火)
18時 点灯
当日タイムスケジュール

時間	プログラム
18:00~18:10	和太鼓演奏
18:10~18:15	オープニング・黙とう
18:15~19:00	Do you know these wars? 平和についての講話
19:10~19:40	ヴァイオリン演奏 渡邊響子 エレクトーン伴奏 井上智美
19:45~19:55	エンディング

宇都宮空襲犠牲者追悼灯ろうイベントは、市民団体「ピースラフのみや」により、長年続けられてきましたが、近年メンバーの高齢化などにより継続が困難になりました。「宵まち宮灯ろう」は、市内の大学生が中心となって、空襲体験者や市内の小中学生の皆さんの協力のもと開催するものです。

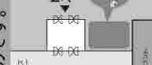
和太鼓
ひがし子ども和太鼓クラブ



エレクトーン 井上智美



講話 大野幹夫



場所 トナリエ宇都宮1階
屋外ラ・ラボケット

MC 青木ひろこ

主催 宇都宮共和国公認
学生ボランティアサークル「町おこしTiger」

ヴァイオリン
渡邊響子



エレクトーン 井上智美



連絡先 080-5372-0221 宇都宮共和国渡邊研究室

宵まち 宮 灯ろう



灯ろう



和太鼓
ひがし子ども和太鼓クラブ



エレクトーン 井上智美



講話 大野幹夫



ヴァイオリン
渡邊響子



エレクトーン 井上智美



図1 宵まち宮灯ろうのチラシ
(町おこしTiger作成。写真は各個人、団体より提供)

77年前の1945年7月12日、宇都宮では空襲によって沢山の人が亡くなりました。犠牲になった方たちの慰霊と平和への思いは、その後、市民団体「ピースラフのみや」により、38年間にわたり、「宇都宮空襲犠牲者追悼灯ろうイベント」もその活動の一つとして、続けられてきました。近年メンバーの高齢化や近年の新型コロナウイルスの影響などにより、継続が困難となりました。今年イベント「宵まち宮灯ろう」は、こうした状況を憂い、活動の継続を願う大学生たちによる追悼イベントです。今回のイベントで会場に灯ろうが燃える多くは、市内の小中学生のみなさんが製作しました。製作指導にあたっては追悼灯ろうイベントの関係者のみなさんに指導いただきました。ロシアのウクライナ侵襲に限らず、いつの時代でも世界のどこかで戦争が起こっています。空襲体験者から大学生や小学生へ、このイベントを通じて、平和への願いを込めた灯ろうを灯ろうという形で渡していけたらと思います。

宇都宮共和国公認ボランティアサークル町おこしTiger一同
＝出演者紹介＝

ひがし子ども和太鼓クラブ

- ・文化庁の認可を受け、宇都宮市立東小学校児童を中心に、日本伝統文化の和太鼓を習得し、継承に努めています。
- ・指導は、宇都宮文化協会員、和太鼓「真」主宰の川俣弘子先生です。
- ・これまで、地域の祭りや文化祭、市の城址まつり等に参加し、軍に、老人ホームの慰問もしてきました。
- ・この年はコロナ禍のため、練習も思うようにはできません。イベントもほとんど中止でしたが、令和4年度からは、従来の練習やイベント参加に戻ることを期待しています。
- ・この度は「宵まち宮灯ろう」に賛を掛けて頂き有難うございます。会場の制約から会員の一部で演奏しますが、イベントの主旨を十分に届込めていきます。

大野 幹夫 (おおの みきお)

- ・1982年(昭和57年)宇都宮市唐澤町(現・唐澤通り1丁目)生まれ。90歳。『栃木の空襲・被災を語り継ぐ会』代表。
- ・ピースラフのみや(旧「宇都宮平和祈念会をつくる会」)運営委員、九条の会副代表、全国空襲犠牲者協議会所属、とちぎネット会員、紙芝居を使っての小中学校でのサポート授業、市民団体での公演等を継続。

渡邊 響子 (わたなべ きょうこ)

- ・宇都宮市出身のヴァイオリニスト。
- ・湘南より才能教育スズメソードにてヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科卒業、桐朋学園大学音楽学部を経て、ウーン国立音楽大学、同大学院に在籍の最中、桐朋女子高等学校音楽科で修了。
- ・国内の主要コンクールに加え、第8回トレゼー国際音楽大学コンクール室内楽部門、現代音楽部門において第1位を受賞するなど、海外でも高い評価を受けている。
- ・2019年にワーンから日本に拠点を移し、各地で幅広く演奏活動を行う。
- ・現在はワーンで演奏をSNSで発信するなど、新しいスタイルでの活躍の場を広げている傍ら、去年ヴァイオリン教室を開校し、後進の指導にもあたっている。

井上 智美 (いのうえ ともみ)

- ・宇都宮市出身。エレクトーン奏者。ミュージックサロン「TODH(ト音)」主宰。
- ・4歳よりピアノを始め、ヤマハ音楽教室専門コース上級科にて声楽通奏(せりざわ なおみ)氏に師事。
- ・栃木県学生音楽コンクール金賞受賞。JOCに選抜され、作曲アレンジを学ぶ。
- ・大学卒業後、ブライトン・レーサーとして演奏活動を始め、2012年よりエレクトーン・ブレイヤーとして本格活動。
- ・エレクトーン・アンサンブルグループ「L*POOL」、MusicDuo「P i a c e r e」のメンバーとして活動する一方、フルート奏者栗田留水とのアンサンブルDuo「TrombConcerto」を結成し、とちぎ未来づくり財団主催の学校訪問演奏コンサートや地域演奏活動は公演100回を越え、好評を博している。

＝演奏曲目＝

- ・後方の光
 - ・望郷のバラード
 - ・いのち歌
 - ・You Raise me up
 - ・ピンクスの酒
- ＝協賛・協力＝
- 有限会社サエラ
 - ジェフズ株式会社
 - ピースラフのみや
 - 有限会社アートセンターサカモト
 - 和灯屋
 - 宇都宮共和国
 - 駒澤大学 准教授 西山弘泰 氏